

基本目標

4

環境を守り育てるまち

地球の資源には限りがあります。これまで人々は、大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇や環境汚染などを引き起こし、今ではこの問題は地球規模へと拡大しています。特に、地球温暖化の防止については、行政だけでなく、市民一人ひとりや事業者が積極的に取り組まなければならない課題です。

大和市は、水や空気をきれいにし、ごみの減量化、資源化を進めるとともに環境教育を推進するなど、環境への負荷軽減に配慮した取り組みを今まで以上に積み重ねていきます。

また、緑は生活にうるおいを与え、その保全は地球温暖化の防止にも効果的です。市内に残る貴重な緑地や農地を適切に守っていくとともに、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、環境への負荷を減らし、緑を大切にする、環境を守り育てるまちづくりを推進します。



個別目標
4-1

環境への負荷を減らす

この目標で「めざす成果」



こんな事業を実施します

1 ごみの減量化、資源化が進んでいる

ごみ減量化推進事業、資源分別回収推進支援事業、焼却灰等有効利用事業、塵芥収集事業など

2 河川の水質が向上している

合流改善事業（処理場）、下水道整備推進事務、下水処理場改築・更新事業など

3 生活を脅かす環境要因が改善されている

公害対策調査事業、公害防止啓発・指導事業など

4 環境に配慮して行動している

環境意識啓発事業、電気自動車普及啓発事業など

5 ごみのない清潔なまちが維持されている

路上喫煙防止対策事業、不法投棄物未然防止事業など

個別目標
4-2

まちの緑を豊かにする

この目標で「めざす成果」



こんな事業を実施します

1 緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる

緑地保全事業、大規模緑地整備事業、緑化推進支援事業など

2 身近な農地が大切にされている

農業経営基盤強化促進事業、市民農園支援事業など

TOPICS

電気自動車が走り始めます



未来の車、電気自動車がついに走り始めます。

排気ガスをいっさい排出しないクリーンな電気自動車は、地球温暖化防止の切り札として大きな期待が寄せられています。環境に配慮した取り組みとして、大和市でも電気自動車を1台導入します。さらに市庁舎駐車場に急速充電設備を設置し、今後、電気自動車を購入される個人の方にも、無料で充電していただける環境を整えます。

導入後は公用車としての利用のほか、各種イベントでの体験乗車等により皆さんに広く知りたいとともに、小中学校での環境教育にも役立てていく予定です。

※写真の車体及び急速充電器のデザインはイメージです。

TOPICS

大和市民農園で野菜づくり

市民農園とは、まちの中の農地を利用して、市民の皆さんのが野菜や花を育てるための農園のことです。大和市では、市民の方々が農作業を通じて、緑や土と親しみながら、農業への理解を深めていただけるよう、こうした市民農園を市内19ヶ所に設置しています。

現在、約1,000人の方が利用しており、利用者は「自分で育てた野菜を食べるため」、「自然と触れ合うため」、「健康のため」など様々な理由で野菜づくりを楽しんでいます。市民農園は、毎年2月頃に申し込みを受け付けています。皆さんのご参加をお待ちしています。

